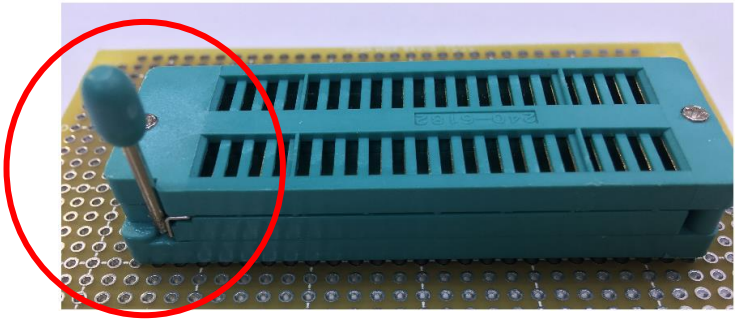
ゼロプッシャーＩＣソケット　ハンダ付けの方法
２８ピン（Ｐ－１１７４３）　４０ピン（Ｐ－１１７４４）

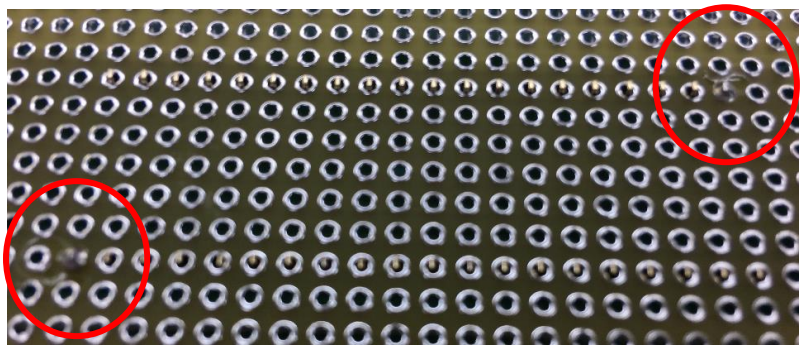
・上記商品のハンダ付け方法は、メーカーマニュアルで下記のように規定されています。
　260±5°C For 5±1 Seconds.

より安全にハンダ付けを行っていただく為にこの説明書を作成いたしました。

１）　レバーを縦に立てた状態にして基板に挿入する。

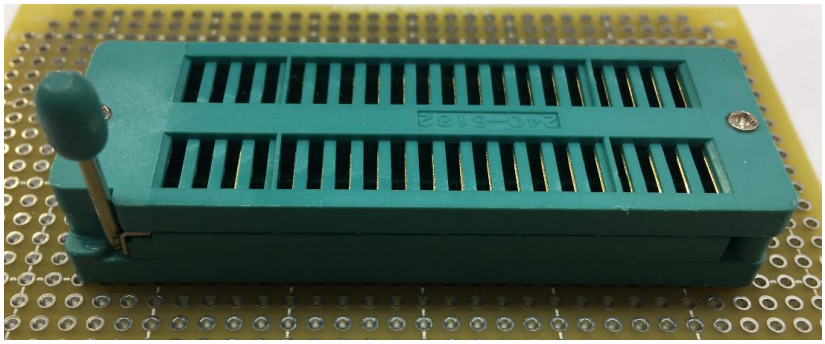


２）　裏面から対角ピン２本をハンダ付けする。（レバーは縦に立てた状態のまま）

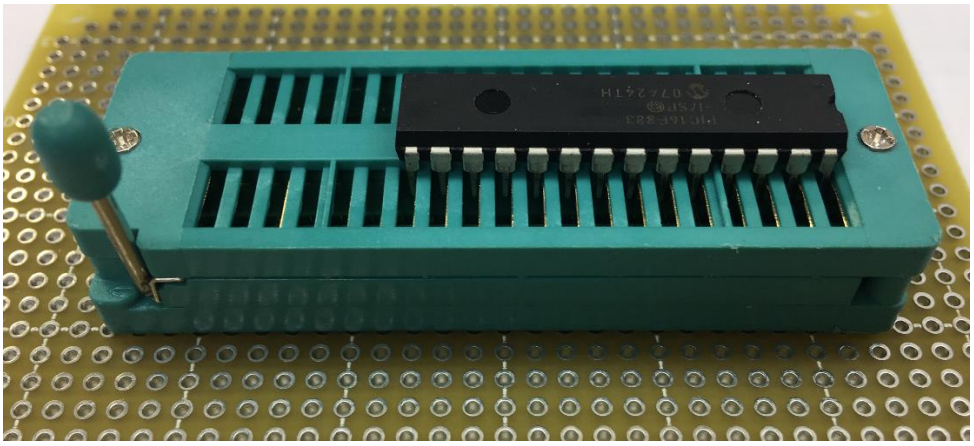


３）　基板からソケットが浮いてないのを確認して、残りの対角ピン、残りの全ピンをハンダ付けする。
（レバーは縦に立てた状態のままで）

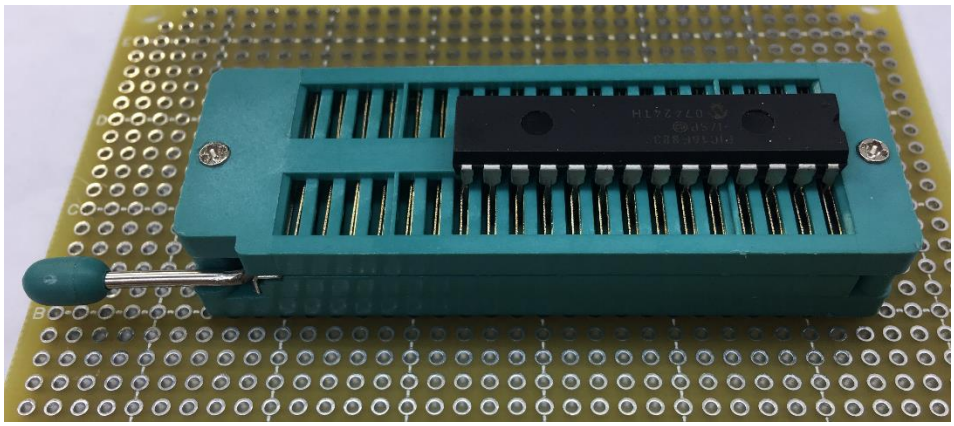
４）　ハンダ付け完了です。



５）　レバーを縦に立てた状態でデバイス（ＩＣ）をセットします。



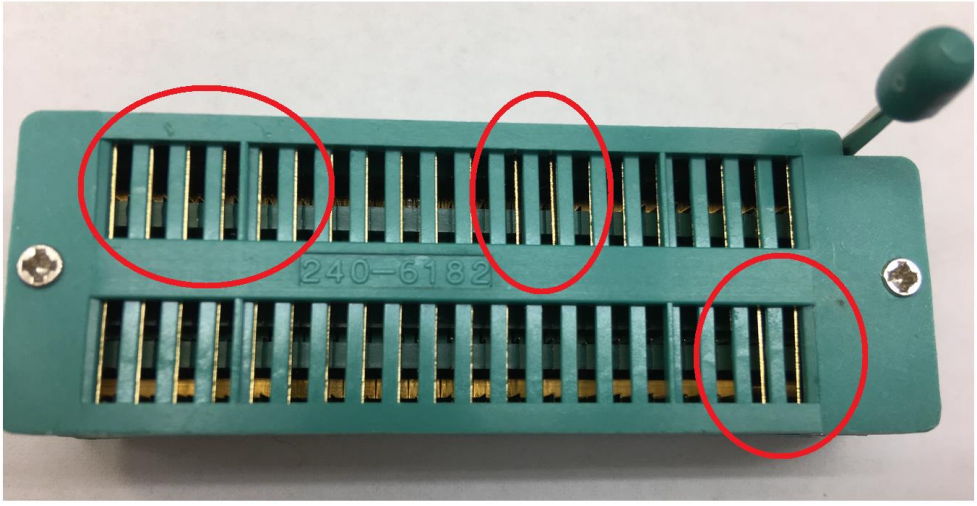
６）　レバーを横に倒してホールド（電気的接続）します。



取り付け時（ハンダ付け時）の注意

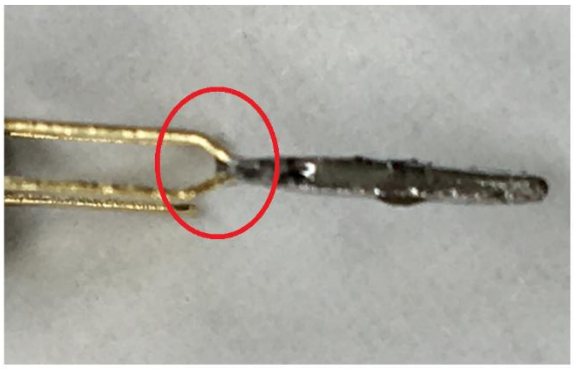
- こちらの商品は前述のように、ハンダ付けの際にレバーを縦に立てた状態（上記画像の状態：オープン）でのハンダ付けをお勧めいたします。
  横に倒した状態（クローズ）でのメーカーマニュアルの規定以上の高温過時間のハンダ付けはピン接触部に不具合を生じる可能性がございます。
  （素早い適温のハンダ付けではこの現象は起きません）

- 下の画像はピンを横に倒した状態（クローズ）でのハンダ付けで起きた不具合の例です。
  赤丸で示したピンが、レバーを立てた状態（オープン）でも開ききっておりません。
  （他のピンの開き具合より狭くなっています）



・下の画像は、不具合が起きたピンと正常なピン（ハンダ付け前）を比べたものです。
このピンは一枚の金属板を２つ折りにして製造されております。
この合わせた部分（赤丸部分）にハウジングの隙間からハンダが入ってしまった場合、上記の不具合が起きます。

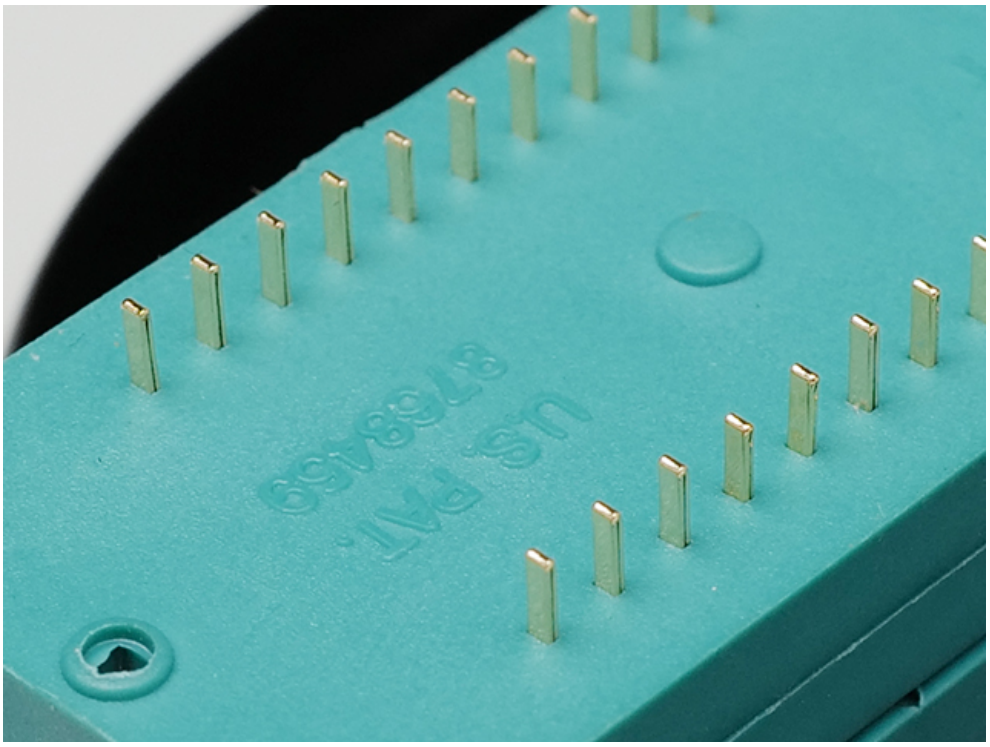
★不具合の起きたピン



☆使用前の正常なピン

・ハンダ付けの際はピンを縦に立てて（オープン状態）でハンダ付けを行うか、あるいはメーカーマニュアルに従い、
素早く適温でのハンダ付けを行っていただきますようお願い申し上げます。

(株)秋月電子通商　技術部



ピンの形状